



サザンカ
場所:湖山小学校校庭横信号付近

1月の特許相談会

※今月は鳥取地区で同時開催されます。相談をご希望の方は予約をお願いします。

【鳥取地区】
相談員：滝本智之弁理士
(電機・機械関係他)
日時：1月15日(金) 13:30より
場所：産学・地域連携推進機構 会議室

【米子地区】
相談員：富田憲史弁理士
(医獣・バイオ関係他)
日時：1月15日(金) 13:30より
場所：産学・地域連携推進機構 研修室

<お知らせ> 2月相談会予定 富田弁理士 2/15(月・米子地区で実施) 滝本弁理士 2/16(火)
3月相談会予定 富田弁理士 3/12(金) 滝本弁理士 3/15(月)

【目次】

1月の特許相談会	1
【巻頭言】「山陰海岸ジオパーク」	2
山陰(鳥取・島根)発新技術説明会報告	3
さんさんコンソからのお知らせ「JST 目利き人材育成プログラム」	4
知的財産管理運用部門員から一言	4

「山陰海岸ジオパーク」

「世界ジオパークネットワーク」は、地球の歴史を刻み込んだ貴重な地質遺産を含む地域を指定し、保全・活用して後世に伝え・残して行くことが要求されています。地質遺産を活用して地域振興を図ることが課題です。相反する考えのバランスを考慮しながら、「自然遺産の保全と活性化のプロジェクト」を作成し、実践することで、「持続可能な自然環境と地域社会を構築する」ことを目指します。

「山陰海岸ジオパーク」のテーマは「日本海形成に伴う多様な地形・地質・風土と人々の暮らし」です。山陰の海岸美は、花崗岩・玄武岩などで形成される荒々しい岩石海岸と優美な砂浜海岸です。それは日本海形成のドラマが記録され、数千万年以上の長い歴史を刻んでいます。そして、日本海の影響による気候・気象が山陰海岸の環境を創り、固有の動植物が生育しています。人々の暮らしも山陰の気候・風土の中で営まれています。

山陰海岸ジオパークの地域は、東の京都府京丹後市経ヶ岬から西の鳥取市白兔海岸までの約110キロメートルの海岸線、山地を含む南北約30キロメートルが範囲で、その中に12のジオエリアが設定されています。そして、山陰海岸を構成している岩石・地層・地形を、ジオテーマに沿った5つの時代に区分して、日本海の形成過程を明らかにしています。

- I : 日本海形成前の大陸の時代 (7500~5000 万年前) 浦富海岸(花崗岩)
- II : 日本海形成へ向けた前駆的内陸盆地と安山岩質マグマ活動の時代 (2200~1700 万年前)
- III : 日本海形成に至る堆積盆地と流紋岩質マグマ活動の時代 (1700~1100 万年前)
- IV : 日本海成立後に引き続く火山活動の時代 (400~200 万年前)
- V : 現在の地形形成と第四紀火山の時代 (200 万年~現在) 鳥取砂丘

21世紀が環境の世紀であり、地域の美しい自然を次世代に引き継ぐために、保護活動が必要なことは言うまでもありません。しかし、地域社会が過疎化し、疲弊して存続できない状況になっては「ジオパーク」ではありません。「地域振興」がもう1つの柱です。地域の財産である地質遺産を産官学連携・広域連携で活用することが必要であり、これは大学の知的サポートがなければ成り立たないことです。「見て・食べる」観光からの脱却を図り、体験型観光の開発は専門知識を持っている大学のサポートが不可欠です。鳥取県・兵庫県・京都府の地場産業の交流による地域振興は産官学連携・広域連携による開発プロジェクトが必要です。大学の知的財産の活用は「山陰海岸ジオパーク」の行く末を決める重要なファクターです。



放送大学
鳥取学習センター所長
鳥取大学名誉教授
西田良平



図：山陰海岸ジオパーク範囲と12のジオエリア

山陰（鳥取・島根）発 新技術説明会 報告



12月8日(火)に東京市ヶ谷の(独)科学技術振興機構 JST ホールにおいて、山陰（鳥取・島根）発新技術説明会が開催されました。鳥取県、島根県の主な研究機関が連携して開催する新技術説明会も今回で3回目となります。全体で10テーマの発表のうち、鳥取大学からは未公開特許技術を中心に、環境、医療・健康、ものづくり・計測分野で4テーマの発表を行いました。延べ参加者も約480人と、大変盛況な説明会となりました。

[新技術説明会の詳細は、知財部門ニュース11月号をご覧ください。]



発表者・題名他

原子状に微細化した安価な高活性パラジウム触媒による機能性材料合成反応

【技術に関する
知的財産権】

特願 2008-239789

特願 2009-205487

【分野】 環境



工学研究科 奥村 和 助教

魚油に含まれる多価不飽和脂肪酸の心房細動予防作用

【技術に関する
知的財産権】

特願 2008-148303

【分野】
医療・健康



医学系研究科 久留一郎 教授

細菌糖鎖を利用したワクチンと分析・診断ツールの開発

【技術に関する
知的財産権】

特願 2009-122595

【分野】
医療・健康



農学部 山崎良平 教授

二方向観察による三次元顕微鏡システムの開発

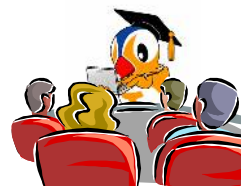
【技術に関する
知的財産権】

特願 2009-035171

【分野】
ものづくり・計測



工学研究科 中井 唱 助教



さんさんコンソ（中国地域産学官連携コンソーシアム）からのお知らせ



JST 技術移転に係わる目利き人材育成研修プログラム

平成 21 年度研修（地域コース：鳥取開催）

「マリンナノファイバーをテーマとした地域産学官連携推進」

2月2日（火）10:00～17:00

県民ふれあい会館 4階中会議室2（鳥取市扇町）

研修プログラムは、1日で行われ、下記内容で構成されています。

【講義】①良い提案とは ②S-Nマトリックス変換の活用法

【事例紹介】“マリンナノファイバー”技術説明

【事例研修（グループ討議）】事例の活用方策についてグループ実践研修

お問い合わせは清水（電話：0857-31-5703/Email：info@sangaku-cons.net）まで



知的財産管理運用部門員から一言

今年は寅年！個人的には飲み過ぎて虎にならず、組織的には知識溢れる虎の翼になりたいものです。

（佐々木知的財産管理運用
部門長・教授）

鳥取に来て1年が過ぎ、変化に富んだ四季を一通り体感することができました。今年もさんさんコンソともどもよろしくお願いいたします。

（清水産学官連携プロデューサー
・プロジェクト研究員）

本年もよろしくお願い致します。研究成果の知財化、活用等を支援していく所存です。発明に係ることなら些細なことでもご連絡ください。

（山岸副部門長・助教）

皆様の部門ニュースへの投稿をお待ちしています。新企画やアイデアも募集しています。部門室でどんどん話しましょう。

今年も健康に気をつけ、仕事と趣味と家庭の予定で詰まった日々を元気で楽しく過ごせるよう頑張ります。

よろしくお願い致します。

（矢部事務補佐員）



知的財産管理運用部門で特許の仕事に携わって丸一年がたちました。一からのスタートでしたが、先生方をはじめ周りの方々に助けていただきながらの感謝なしでは過ごせない一年でした。

まだまだ勉強することはたくさんありますが、今年は昨年より少しはお役に立てれば…と思っています。

今年もよろしくお願い致します。（太田事務補佐員）

*** 編集後記 ***

昨年12月、(財)日本漢字能力検定協会による『今年の漢字』には、様々な意味を含んで「新」が選ばれ、清水寺の「奥の院」で森清範貫主が和紙に墨汁鮮やかに「新」の文字を揮毫（きごう）しました。

今年も知財部門として新（心）機一転、知的財産活動に邁進したいと思います。本学教職員の皆様のご支援・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

*** 特許相談 ***

相談員：佐々木茂雄（部門長・教授） TEL：0857-31-6000（直通）（内線 2765）

山岸 大輔（副部門長・助教） TEL：0857-31-6094（直通）（内線 4072）

場所：産学・地域連携推進機構2F 知的財産管理運用部門

FAX：0857-31-5474（専用）（内線 2771）

産学・地域連携推進機構 HP：URL / <http://www.cjrd.tottori-u.ac.jp/>

*** 刊行物 ***

知財部門ニュース 1月号
<34号>（通番63号、
2010年1月1日発行）

編集・著作：
知的財産管理運用部門

発行：鳥取大学
産学・地域連携推進機構